

松本議員

原子力災害から勝山市民を守る方策について

問 福島原発事故はいまだ終息していない。住民はいまだに故郷に帰れず、農林産物は風評被害を受けている。先日、北朝鮮の原発テロ部隊の存在が明らかになり、原発の危険性は自然災害によるものだけでなく、人為的ミス、更にはテロ行為までも加わっている。この脅威から勝山市民を守るためには、全国市長会などで廃炉を進めるように求めるべきではないか。

答 勝山市で開催された北信越市長会において、原子力発電所の安全対策等について国に強く要請することを確認し、また、全国市長会においても同じ内容で決議されている。

勝山市のTPP対策について

問 政府は財界の意向を受けTPP加盟へとひた走る中、農家からの批判をかわすために「農家の所得倍増計画」など謳っているが、選挙前のまやかしと思える。勝山の農業を守るにはどうするのか。市の考えを伺う。

その他の質問
・勝山夏フェスの開催について

答 TPP協定交渉参加に関しては、4月18日・19日の衆参両議院の農林水産委員会において決議された事項が守られるよう他市町・JA等、農業団体と連携して国に働きかけていく。

また、勝山市の農業を守るために、国の農業強化策を活用するなど努めると共に、農業の六次産業化について、農業者の意向を踏まえて、ソフト・ハード面で検討・協議し、農業者の生産意欲の向上や農業関係の雇用の確保に努めていく。



中山間地での稲作

～常任委員会の審議より～

予算委員会

予算委員会では平成25年度勝山市一般会計補正予算(第2号)について審議されました。

まちづくり関係事業費について

まちづくり関係事業費として、宝くじの受託事業収入を財源とする「コミュニティ助成事業補助金」が計上されました。これは前年度秋に、コミュニティ組織から申請された10件のうち、今年4月に採択された4件の補助金です。

委員会では、各区長への制度の周知が不十分で、申請できなかったようなコミュニティ組織がないようにするため、区長への説明を徹底すべきとの意見がありました。理事者からは、これまでは毎年9月末に文書によるお知らせだけでしたが、今後は各地区区長会開催時に説明していくとの回答がありました。

バスの路線・運賃について

委員会では、バス運賃の格差や、現行バスルート等の問題について指摘がありました。担当課では関係機関との協議を重ね検討を進めているとのこと。公共交通機関には多額の費用が投入されていることを踏まえ、今後理事者側からの提案を議会としても議論し、より良い公共交通体系の構築に努めていくことになりました。

映像誘致事業費について

子どもたちに人気の「獣電戦隊キョウリュウジャー」の映画ロケが4月24日から25日にかけて県立恐竜博物館とその周辺で行われ、8月3日より全国約300館で上映されるという報告がありました。

今回、この映画にかかるPR補助金200万円が補正予算として計上されました。映像誘致事業費としては、「恐竜を掘ろう」「サクラサク」に続き3本目になりますが、委員会ではお金を出して勝山の知名度を上げるのも大切だが、まちなか誘客に繋がる工夫も必要との指摘がありました。

保育所職員処遇改善事業費について

6月補正予算に計上された私立保育園職員処遇改善事業補助金は、保育士等の確保をはかるために保育士等の賃金引き上げによる処遇改善に取り組み民間保育園に対して、助成を行うものです。

計上された予算額は、1,948万5千円で、給与、手当賞与、一時金などの処遇改善を図る保育園に対して、園児数に応じて補助されることになっています。処遇改善の対象者は、保育士、調理員、栄養士、事務職員で非常勤職員も含まれます。ただし、理事など幹部職員は除かれます。なお、この処遇改善は、今年度限りのものと説明がありました。